

能登半島地震から1か月が経過しました。お正月から大変な思いで被災されている方に、当院でも募金箱を用意させて頂いております。中には小さなお子さまへママが説明して募金する姿もあり、とても感激しました。皆さまの善意は2月末に責任をもって石川県へ送ります。引き続きどうぞよろしくお願い致します。

院長 池澤滋

感染症情報 12/25~1/21	前回	今回
アデノウイルス	75	33
溶連菌感染症	21	19
感染性胃腸炎	79	57
水痘(水ぼうそう)	2	1
手足口病	5	4
突発性発疹	6	3
りんご病	0	1
おたふく風邪	2	1
新型コロナ	4	20
RSウイルス	4	0
インフルエンザA	185	69
インフルエンザB	9	38
インフルエンザAB	0	1



2月

- ★クリニック予約
  - ★クリニックホームページ
  - ★いけざわ beauty(インスタ)
  - ★クリニック Instagram
- こちらから→ → →



## わが子の選択



まだ新米ママの頃私は、長男の髪を小学校に上がるまで切っていた。坊っちゃんカットなんかじゃなくて丸坊主。いまではほとんど見なくなった丸坊主だが25年前の当時はそんなに少なくなくて、しかも私はハサミで切っていた! 「丸坊主をハサミで!? バリカン買えばいいのに」友人にそう言われても「いやいつか理容室に行くから、そうならもったいないしサ」そう言って1時間くらいかけて長男の髪を0.5ミリくらいに揃えていた。短い髪をチョコチョコ切ると激しく飛び散る。掃除機で吸って、切って、吸ってというとても原始的な方法。時にはいわゆる虎刈りになり、園のお母さんたちから「〇君の髪、池澤さんが切ったんでしょ」と言われる度にエヘと笑って誤魔化した。

当然、長女の髪も次女の髪も私がおかっぱに揃えていた。しかし子どもが小学生に上がる頃何だか面倒になり、何よりも人目が気になってきた。狙ったおかっぱではなく修行していない単なる素人の「ママカット」。周りのお友達からわが子が何だか少し浮いている気がして私は自信をなくして二人の娘は近所の美容室、息子は39カットへ。どちらも当たり前だが手際よく、とにかく早い! 顔中毛だらけの1時間ではなくすっきりさっぱり30分に感動を覚えた。あれから20年、巣立った子ども達はホットペッパーでお気に入りを探し、自分のお金で思い通りの髪にカットしてもらっている。福岡に住む次女の髪型がいつもいい感じなので、どこで切ってるの? と聞いたら天神だという。ちょうど福岡に用事があったので、思い切って娘の担当を指名してお店に行ってみた。天神の美容室なんてお初!



## 「姉の信念」

一年中、カロリーのことを考える私に対して私の姉は全く気にしない自称「食いしん坊」なんです。

少し緊張しつつ階段を上った2階の雰囲気はふんわり柔らかく、また初めてお会いする娘の担当の方をとっても穏やかで優しくかった。その優しさが自然で全く営業っぽくなくて。「ああ、娘はこの人を選んだのかあ(結婚相手じゃあるまいし笑)なるほど」と心の中で微笑んだ。彼はセンスなしの私の意向を丁寧にカウンセリングしてくれハサミを入れた。窓から差す柔らかな光の元で、この人が娘の髪を大切に切ってくれているを思うと、有り難さも感じる。帰り際に「これからもよろしくお願い致します」と言った後「これからも」は私のことではなく娘の「これから」なのだと思いたい気持ちをおさえつつ階段を降りた。子どもの髪型を決めるのも、切るタイミングも、何もかも私の思い通りだったのは遥か遠い昔の話。髪型だけじゃない。あの頃は、食べるもの、着るもの、どこへ行くのも行かないのも全部私の一存で決めてきた。親のチョイスが子どもにとって勿論最良なのだと思いついて疑いもしなかった。もう二度と、私がわが子の髪を切ることはない。

ネットであらゆることが検索できるようになった今、恐ろしいような情報量の中から、自分の好みで様々な選択をしている子ども達。自立を嬉しく思うと同時にちょっぴり寂しくもなるが、これからは私が娘のアドバイスを聞いていく番だと思う。少しモノ足りないほど自分を出さない優しい店長さんだったなと、熊本への帰路で思い返す。と同時にいつか娘が選ぶ人を想像してみる... 私たち親がいなくなった時、優しい、楽しい陽だまりのような人がわが子のそばにいてくれることを願う。

